

# 都立高校生等ボランティア・サミット

## 目的・ねらい

都立高校・特別支援学校の生徒の主体的なボランティア活動の一層の推進を図るため、ボランティア活動推進校の取組事例を共有するとともに、東京2020大会や将来実施するボランティア活動をテーマとして話し合い、各学校及び地域のボランティア活動を先導する人材の育成を図る。

## 取組・活動内容

### ①実施時期

平成30年度、令和元年度、令和2年度 計3回実施

### ②実施規模

全都立高校等が参加

### ③取組・活動内容

- ・ボランティア推進校(6校)が、ボランティア・サミットを企画運営し、パネルディスカッションやグループディスカッションを実施した。
- ・また、全都立高校等で取り組むボランティアとして、オリンピック・パラリンピックに参加する国や地域の国旗等を配色した千羽鶴を製作し、来訪者をもてなすボランティアの企画、取組を行った。

## 本取組・活動の成果

- 参加した生徒からは「もっと広い視野で物事を見ることが大切だと感じた。いろいろな人や文化との交流や体験を積極的に行い、見聞を広めようと思った。」「ここで学んだことをまずは学校に伝え、まだまだやれることはある、ボランティアの意義はここにあることを理解させられるようにしたい。」といった感想があった。
- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中において、オンラインで実施し、多くの生徒と教員が、他校の生徒との交流により他校の生徒の考えを聞くことができた。
- 交流を通して、「新しい日常」でのボランティア活動や将来のボランティア活動について多様なアイデアが提案された。
- 多くの生徒が今後もボランティア活動を実践したいと回答したことから、本事業によって都立高校生等のボランティア活動への意欲向上につなげることができた。
- ボランティア・サミット運営委員会での交流の内容を踏まえた内容や方法を具現化することができた。また、参加生徒の意見を反映したボランティア宣言を発信することができた。

## 活動の様子

